

令和6年度公立置賜長井病院看護師負担軽減計画

令和6年4月現在の勤務状況 病床数50床(包括病床28床、一般病床22床)
1. 看護師数 常勤35名 再任用8名 会計年度任用職員5名
2. 看護補助者数 会計年度任用職員12名 (内夜勤専従補助者3名)

看護職員の負担軽減を図るため、多職種職員との役割分担の見直しを継続するとともに、業務内容に見合った再任用・会計年度任用看護師及び看護補助者(夜勤専従補助者を含む)を配置する。

項目	目標	現状・令和5年度実績	目標達成のための手順	達成年次期	項目達成状況			
					令和6年9月		令和7年3月	
1.看護補助者の配置	当院の役割から高齢患者が多く、食事や排泄介助などの業務が多い。日中及び夜勤看護専従看護補助者を配置を継続して、看護職員の業務負担軽減を図る。 看護補助者充実加算(地域包括ケア病棟等で直接患者に対し療養上の世話を提供する看護補助者を一定数配置している場合に評価)(1268時間/4週) 加算取得には1440～1488時間必要で約200時間不足となる。あと35時間に人で140時間なので、人数でいえば 2人必要 。	1.病棟補助者10名(夜勤専従3人を含む) 内訳:35時間4名 31時間3名 32時間2名 20時間1名 総時間数: 317時間/週 2. 夜勤専従看護補助者は、1名増員され3名となった。全日夜勤に配置できている。 3.リハビリ室配属の看護補助者が、2時間環境整備、配膳下膳を行っている。 4.透析室1名継続	1. 病棟の日勤業務を行う看護補助者(35時間)を 2名増員し、12名体制 :総時間数 372時間 (夜勤専従93時間を含む)以上)とするため、求人継続する。 2. リハビリ補助者の助勤時間を2時間⇒4時間/日に増やす 3. 夜勤専従看護補助者3名を維持する。 (3項目達成で100%)	令和6年度末	未達成	5月に1名退職し、現在病棟配置は9名。リハビリ配置の補助者による助勤時間を増やして対応している。		
2.臨時看護職員の配置 (再任用・会計年度任用職員)	シフト体制の充実や週休・年次有給休暇の取得を推進するため、再任用・又は臨時看護職員を積極的かつ的確に配置し、看護職員全体の負担軽減・士気の高揚を図る。 また、休暇取得など看護師不足となった部署への補充体制を充実させる。	1.再任用看護師8名の継続雇用している。 2.外来から透析室への助勤 3.病棟から外来採血業務に助勤	1. 再任用看護師6名の継続雇用 2.外来から、透析室への2日/週助勤 3.病棟から、外来(午前中)採血業務の助勤 1名 病棟から2日/週外来へ助勤 1名 4.助勤体制は、部署長の判断で、部署間の業務調整し補充しあうこと。 (4項目達成で100%)	令和6年度末	達成	4月の勤務異動に伴い、4.について業務調整を行った。		
3看護師の業務支援 (部署間の業務支援)	部署で多忙な業務・時間帯が違う。そのため所属部署以外の看護業務を支援をする。	病棟の16時からのおむつ交換を外来から1名手伝ってもらっている。それを継続している。	1. 外来から、16時～30分程度、病棟のオムツ交換助勤 (達成で100%)	令和6年度末	達成	継続		
4.薬剤師との役割分担	外来・病棟における薬剤に対するアドバイスを受けることや、持参薬・処方薬の管理・調整の業務を分担することで、リスク回避を行う。	疑義照会依頼への対応、病棟における持参薬や処方薬、点滴調剤に関する管理を継続	1. 病棟配置薬剤師がカンファレンスに参加し、アドバイスをを行う 2. 入院患者の薬剤に関する疑義紹介依頼への対応 (2項目達成で100%)	通年	達成	継続		
5臨床工学技士との役割分担	院内における医療機器の適正な使用と安全性の向上を目的に臨床工学技士を配置し、医療機器の保守管理業務を行う。また人工透析室に配置し、透析機器の管理及び透析業務全般を担い、安全で効率的な運用を支える。	常勤臨床工学士1名配置	1. 臨床工学士による定期的な医療機器の点検・台帳管理 2. 人工透析室での機器管理及び透析業務全般の実施 (2項目達成で100%)	通年	達成	継続		
6リハビリ職員との役割分担	入院患者が機能回復訓練室でリハビリテーションを行う際の移動については、リハビリ職員が誘導する。 また、患者の機能回復に向けて看護師と情報を共有しながら自立に向けアドバイスを行う。	申し送りに参加し、患者情報の共有と提案を継続	1. 患者の送迎 2. リハビリカンファレンスでの情報共有、及びアドバイス (2項目達成で100%)	通年	達成	継続		
7.臨床検査技師との役割分担	採血室・採尿室で採取された検体は、検査部職員が搬送し、検査する。感染における検査報告・及び指導を行う。	毎日実施 感染患者の報告を随時実施	1. 採血室・採尿室からの検体搬送 2. 外来採血業務(令和6年は正規職員2名体制となる) (2項目達成で100%)	通年	達成	継続		
8.栄養管理の充実	管理栄養士は病棟で朝の申し送りやカンファレンスに参加し、栄養面でのサポートを行う。また外来での栄養指導により情報共有を行う。	申し送りに参加し、患者情報の共有と提案	1. 病棟での栄養サポート 食形態変更 付加食の検討 2. 外来での患者の栄養に関わる情報共有 (2項目達成で100%)	通年	達成	継続		